

「伊勢湾台風の爪痕」パネル展を開催しました

倉吉河川国道事務所

- 昭和34年9月、我が国を襲った伊勢湾台風は天神川流域にも猛威をふるい、大きな被害をもたらしました。さらに近年の気象状況は大きく変化し水害危険度は増していますが、治水工事の進展により避難勧告等を発令しても避難行動に結びつきにくいと、市町から報告されています。
- そこで伊勢湾台風から60年にあたる今年、当時の水害の様子をより多くの皆さんにお伝えし、危機意識を再認識することで今後の防災に役立てたいという思いから、伊勢湾台風被災状況や河川事業を紹介するパネル展を倉吉未来中心で開催しました。今後引き続き同様のパネル展を流域の市町で実施して行く予定です。

実施内容

【展示場所】

鳥取県立倉吉未来中心アトリウム

【展示期間】

令和元年5月12日(日)～5月17日(金)

【来場者数】

約200名(5月12日のみ)

【展示内容】

- ①パネル展示
- ②3Dシアター
- ③浸水シミュレーションの展示
- ④土石流対策模型の実演 ※②③④は5月12日のみ実施



会場全体の様子

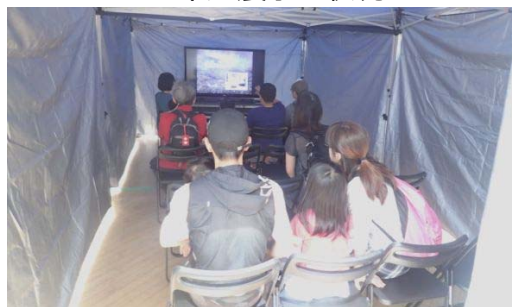
実施状況(5月12日)



パネル展示の状況



土石流対策模型



3Dシアター実施状況



浸水シミュレーションの展示

今後のパネル展※の予定

(下記の日程には、設置・撤去作業日を含みます)

- 北栄町中央公民館 : 令和元年6月17日～6月28日
- 三朝町文化ホール玄関ホール : 令和元年7月8日～7月19日
- 湯梨浜町中央公民館 : 令和元年7月22日～8月2日
- 倉吉市関金支所 : 令和元年8月5日～8月16日
- パープルタウン : 令和元年8月26日～8月31日

※伊勢湾台風に関する
パネル展示のみ